

平成 29 年度岩手県立農業大学校外部評価委員会報告書

- 1 日時 平成 29 年 7 月 7 日(金)13:00~14:30
- 2 場所 岩手県立農業大学校 農業研修館研修ホール
- 3 出席委員

委員長	岩手大学農学部	教授	佐藤和憲 氏
副委員長	岩手県高等学校教育研究会農業部会	農業部会長	岩渕健一 氏
委員	J Aいわてグループ担い手サポートセンター	センター長	照井 仁 氏
委員	岩手県認定農業者組織連絡協議会	会長	高橋 淳 氏
委員	岩手県農業農村指導士協会	会長	高橋 明 氏
委員	岩手県立農業大学校同窓会	会長	笹田昭市 氏
委員	岩手県立農業大学校父母の会	会長	山口美樹 氏

4 評価結果

平成 29 年 2 月に実施した学生、保護者、職員への学校運営に関するアンケート調査結果と各項目の取組内容を踏まえた自己評価結果について、外部評価委員に審議していただいた結果、次の 3 項目全てで、自己評価結果と同じ評価を得た。

評価結果は次のとおり。() は自己評価

1	新規就農者の確保育成	A (A)
2	多様な担い手の育成	A (A)
3	農大の機能強化推進	A (A)

各項目の主な意見等は以下のとおり。

(1) 新規就農者の確保育成

- ・既存の授業についてはしっかり行われているが、農家派遣実習などの研修について、県外の大規模経営体や試験研究機関等へ農業インターンシップで派遣するなど、幅を持たせた研修体系とすることが必要である。

(2) 多様な担い手の育成

- ・農大生は卒業後、地域の農業を引っ張っていくリーダーとなることが求められている。ワークショップ形式のカリキュラムを導入するなど、地域のリーダーとなる人材を育成することが必要である。
- ・他の農業大学校との交流、農業を通じて全国の学生とネットワークづくりを行って欲しい。

(3) 農大の機能強化推進

- ・学生確保にもつながることだが、農大の良さが広く県民に知られていないのではないか。行事等について積極的にマスコミに情報提供を行うなど周知を図る必要がある。